

あなたもチャレンジ 家庭菜園

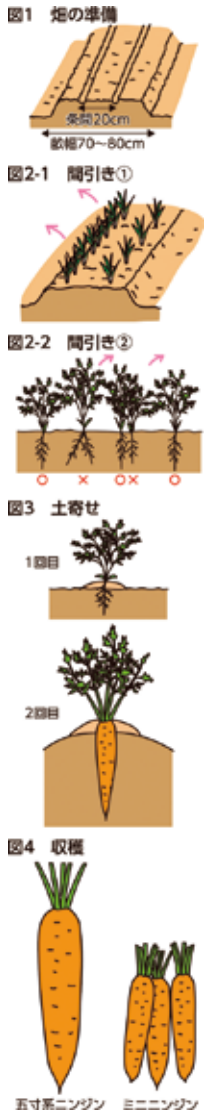


園芸研究家
成松次郎

ニンジン 適期の種まきと灌水で発芽を万全に

ニンジンの発芽適温は15〜25度で、7〜10日で発芽がそろいますが、35度以上では発芽しません。発芽直後の種は乾燥すると枯死し、過湿では酸素不足で発芽不良になります。その後の生育適温は20度前後の冷涼な気候です。

【品種】 耐病性、耐暑性に優れる品種を選びましょう。五寸系では「向陽二号」「タキイ種苗」「ベーターリッチ」「サカタのタネ」、「ひとみ五寸」（カネコ種苗）などがあります。ミニニンジンは極早生で柔らかく、生食向きです。



【種まき】 種まきの2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを散布して、深さ30cm程度に耕しておきます。種まきの1週間前に、1平方m当たり化成肥料(NPK各成分12%程度)100gと完熟堆肥2kgを施し、土とよく混ぜておきます。70〜80cm程度の畝幅に、条間20cm、深さ1、2cm程度のまき溝を2条作ります(図1)。

【灌水】 畑が乾いているときは、まき溝に灌水をしておきます。溝に種を1、2cm間隔に条まきし、裸種子は5mmの厚さ、ペレット種子の場合は1cmの厚さを基準に覆土します。軽い火山灰土では手でしっかり土を押し付けておきましょう。さらに、もみ殻をかぶせて乾燥を防ぐ、黒寒冷しゃの被覆で地温を下げるなどの対策を行います。

【灌水】 種まき前に土にしつかり水を含ませること、発芽後も土を乾かさないことが大切です。なお、黒寒冷しゃなどの日射を遮る資材でべたがけしたときは、発芽後すぐに取除きます。

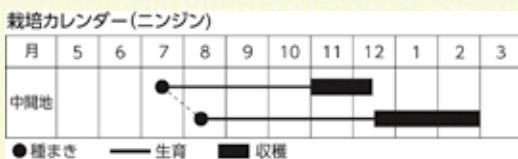
【間引きと追肥、土寄せ】 1回目の間引きは本葉2、3枚のときに密生部や生育の遅れている株、逆に極端に進んでいる株を間引きます(図2)。

1)。2回目は本葉5、6枚のときに、株間を6〜10cmにします。間引く株の根元を手で押さえて引き抜きます(図2-2)。最後の間引き後に1平方m当たり化成肥料50gを追肥し、株元に土寄せして株をしっかり固定させましょう。収穫期近くには、根の肩の部分にさらに土寄せし、根が緑に着色するのを防ぎます(図3)。

【病害虫の防除】 葉はキアゲハの大好物なので、見つけ次第、手で取り除きます。ネコブセンチュウに弱いので連作を避け、前作に被害があるときは作付けを控えましょう。

【収穫】 根径5cm程度に肥大した株から順次抜き取ります。年内は肥大が続くので、太り過ぎて裂根しないうちに収穫をします(図4)。8月までは、さらに土寄せして越冬させ、葉が枯れた後でも適宜掘り上げて収穫できます。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。
※品種は情報提供として記載しておりますので、JAで取り扱えない品種もございます。



花卉部会便り

かきふかいだより

水稲育苗ハウスなどを活用して、はじめてみませんか！
露地でも栽培が出来ますよ！



ハウス栽培で 特産物の 切り花ハボタン を出荷してみませんか？

おすすめの理由は！

初心者大歓迎！
イチから学べます！

- 1 滋賀県内で市場に出荷しているのはJAレーク伊吹だけ！産地として評価されており、年末年始の需要があります。
- 2 作業時間は、小菊に比べて1/3くらいです。
- 3 部会で研修会等を開催し、1日目から出荷ができます。

特産物を育ててみよう！

まずは「栽培の方法」などを説明させていただきます。また、質問などもどしどしお待ちしております。

お問い合わせ・申し込み先／特産振興課 ☎63-2108(8:30~17:00)

☑メールでのお問い合わせも受付しています
当JAホームページのお問い合わせフォームへお寄せください(お返事に時間がかかる場合があります)



一緒にハボタンを育てよう！

